

はばたき

橋北小学校
学校だより

No.12
令和2年9月7日

【図書ボランティアの皆さんの作品】

2学期が始まって2週間が過ぎました。猛暑の8月と比べると日差しは和らいだように感じますが、日中はまだまだ暑い日が続いており、WBGT（熱中症指数）が31を超えて、外遊びを控えなければならなかった日もありました。

体育の時間を使った、運動会の練習も始まっています。今後も、新型コロナウイルス感染症予防対策とともに、熱中症の予防にも最新の注意をはらっていきます。ご家庭におかれましても、体調管理や登校時の熱中症対策等、ご協力をよろしくお願いいたします。



◆「あなた(自分)だったら どうしますか？」

新型コロナウイルス感染症に関して、終息が未だ見通せない状況です。多くの子どもたちが、不安な気持ちを抱えていることも想定されます。

そこで、本校では教職員が子どもたちとの対話を重ね、寄り添うことによって不安を和らげるとともに、道徳の時間を使って偏見や差別防止のための授業に取り組んでいます。



子どもたちは、それぞれの気持ちや考え方を共有し、新たな気づきを得たり、友だちの意見に刺激されて、自分自身の考え方をさらに深めたりしています。授業の中で、子どもたちが最も悩み、深く考えているのが「あなた(自分)だったら、それぞれの場面・立場でどのように行動するか？」というところです。一人ひとり、個性や考え方等は異なります。自分自身がしっかりと考え、導き出した答えを行動に移せるような優しさと強さを持った人に成長してほしいと思います。

*それぞれの学級の授業の様子につきましては、各学年のHPをご覧ください。

子どもたちの感想より

- ・コロナの問題は、とてもむずかしいことなんだなと思いました。(4年)
- ・自分もこういうふうになったら、どうやって対処するか迷ってしまう。どうすればいいのかわからないから、この勉強ができてよかった。(4年)
- ・友達が感染したとしても、差別などをせず、自分が同じ立場だったら、というのを考えて行動する。自分がかからないようにすることが大切。(4年)
- ・もし、友だちがはなこさんようになってしまった子が悪いわけではないからです。(5年)

- ・いじめをしても意味ないのにおかしいと思った。(5年)
- ・友達の想いを優先するのが大事だと改めて思いました。(5年)
- ・わたしは、コロナにかかってしまった人がいても、いじめないから悩まなくてもいいと思いました。(5年)
- ・自分だけのことを考えるのではなく、相手のことも考えないといけないということを改めて思いました。(5年)
- ・コロナに関係する差別やいじめは、いけないとわかっているけど、自分がコロナに感染しないか心配でしてしまう人が多いと思います。ですが、相手の気持ちになって行動することが大切だと思います。(6年)
- ・かくすことなく普通に悪口を言ってきたりするなら相談できるからいいけど、かげでコソコソうわさが広がったりすると、みんなから避けられるし、こわいなと思いました。だから、差別は絶対にしてはいけないと思いました。(6年)
- ・改めて差別はいけないものだと感じました。でも、自分が教材の中の「私」になったら、今まで通り接することができるか、確かに自分も心配になっているかもしれないので、気を付けないといけないと思いました。(6年)
- ・世の中に、こういうつらい思いをしている子がいるっていうのを学んだし、私の学校でも対策をしていますが、いつ、だれがコロナウイルスに感染してもおかしくないから、常に危機感を持ちたいなと思いました。(6年)
- ・教材の中の「私」が差別が悪いことだとわかっているけど、差別をしているというのは、現実でもみんなそうだと思います。悪いとわかっているけど自分が感染したくないから、ということがあると思うので、なくすにはどうすればいいか悩みました。(6年)

◆PTA環境整備へのご協力ありがとうございました！！

8月29日(土)は、お休みのところを160名ほどの子どもたちや保護者の皆さまに参加していただきました。PTA会長の片山さんから、「お互いの距離を2メートルくらいとってください」「熱中症予防のために水分をとりながら作業してください」等のお話をしていただいた後、朝8時から1時間あまり、一生懸命作業をしていただきました。交通指導員の鈴木さんも参加していただきました。おかげさまで、緑一面に近かった運動場は随分きれいになりました。29日は、残暑が厳しく、蒸し暑い日でしたので、参加していただいた皆さまの体調が心配でしたが、無事除草作業を終えることができました。



当日、参加していただけない方々も、他の都合がつく時間に作業をしていただきました。PTA役員の皆さまには、事前準備や後片付けもお世話になりました。ご協力、本当にありがとうございました。